

品質のデザイン | 品質試験一覧

試験項目	試験基準	試験方法
面内剛性試験	BLT ID-03	ドアを枠に取付け、90° 開いた状態でドアのラッチ部に30kgの負荷をかけ、ドアの下がり等を測定。
ねじれ剛性試験	BLT ID-06	ドアを枠に取付け、90° 開いた状態でハンドルの位置に30kgの水平荷重をかけ、ドア下部の変位量を測定。
衝撃剥離試験（砂袋振り子） / 衝撃強さ試験	BLT ID-05/09 + 自社基準	ドアを枠に吊り込んだ状態で砂袋（15kg/30kg）を使って衝撃を与え、全体の強度及び接合状況を確認。
衝撃剥離試験（鋼球落下）	BLT ID-04	ドアの一番弱いと思われる部分に鋼球（50 g /100 g）を高さ 1 m から落下させ、表面材の接着性能を確認。
開閉繰り返し試験	BLT ID-13 BLT ID-14	1 分間に10 回の開閉速度で10 万回の開閉を行い、ドアの開閉機能に異常が無いを確認。
二室反狂環境試験	旧BL 基準 (BLTWU-05)+ 自社基準	実際の施工に合わせて2室間にドアを設置し、各々の部屋の温度と湿度を変えて、ドアの最大変形量及び残留変形量を確認。
照射加熱試験	旧BL 基準 (BLT WU-06)	実際の施工に合わせてドアを設置し、表面温度40～45°Cの熱を 8 時間照射し、その後16 時間放置する。これを 1 サイクルとし、5 サイクル行い、最大変形量及び残留変形量を確認。
開閉衝撃試験	自社基準	ドアを枠に取付け、45° 開いた状態から15kgの重さで扉を閉め、破損及び開閉機能に異常が無いを確認。

※BL基準を基にしたKAMIYA独自の品質基準：タテ・ヨコの最大変形量が1000mmにつき3.0mm以下、残留変形量が1000mmにつき1.25mm以下を合格とします。